

令和7年度 第3回 一関中学校・南小学校学校運営支援協議会

令和 8年2月13日(金)

14:35~15:45

於：南小学校 校長室

●授業参観 (13:40~14:25)

※別紙の通り

●協議会 (14:35~15:45)

< 次 第 >

1 開 会

2 会長挨拶

3 会場校校長あいさつ

4 議 事

(1) 一関中学校 令和7年度学校経営の概要と令和8年度の方向性等について

(2) 南小学校 令和7年度学校経営の概要と令和8年度の方向性等について

(3) 令和8年度の学校運営支援協議会について

(4) その他

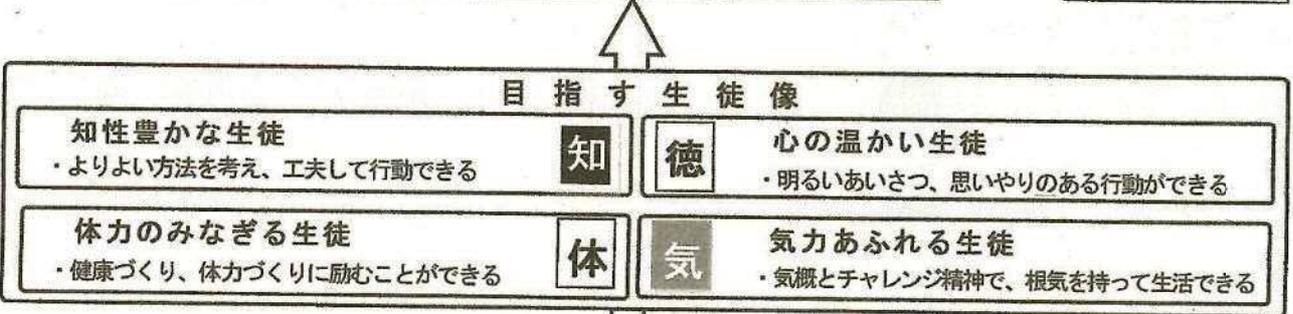
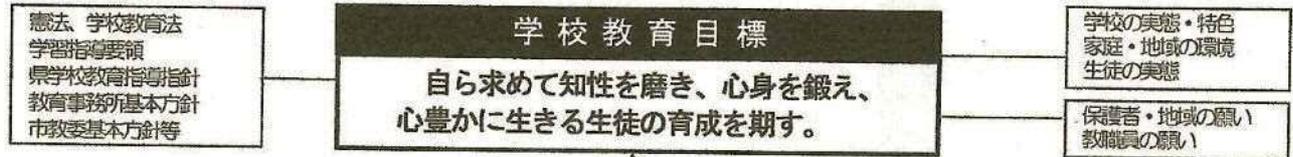
5 その他

6 閉 会

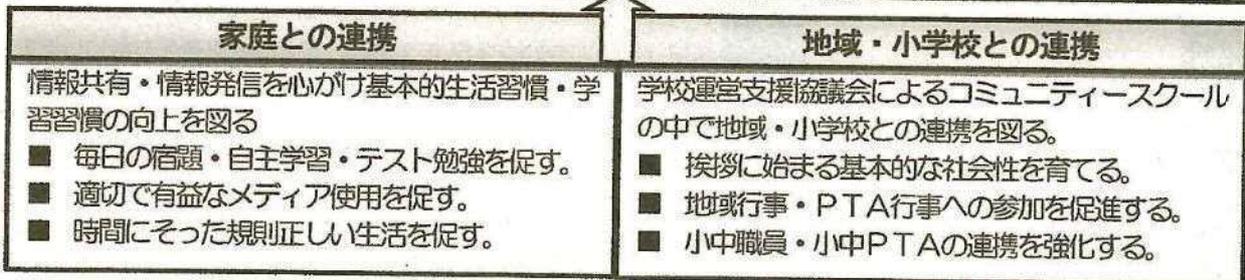
令和7年度 一関中学校・南小学校 学校運営支援協議会 委員

南小学校関連		一関中学校関連	
副会長 地域住民 学識経験者	藤 村 美千代 (元南小校長・人権擁護委員)	会 長 地域住民 学識経験者	松 尾 芳 弘 (元一関中学校校長)
保護者	藤 由 昭 洋 (欠席) (南小学校PTA会長)	保護者	平 間 昭 紀 (一関中学校PTA会長)
地域住民 学識経験者	箸 山 義 典 (一関5区長、元南小学校PTA会長)	関係行政機関 職員	小野寺 徹 (真柴市民センター長)
学識経験者	千 田 智 萌 (一関幼稚園園長)	地域住民 学識経験者	沼 倉 恵 子 (欠席) (元一関市総合計画審議会委員)
関係行政機関 担当者	千 葉 美佳子 (地域コーディネーター)		
対象校 校長	佐々木 祐 也 (南小学校校長)	対象校 校長	小 岩 肇 朗 (欠席) (一関中学校校長)
対象校 副校長	岩清水 裕 行 (南小学校副校長)	対象校 副校長	菅 野 剛 英 (一関中学校副校長)

# 令和8年度 一関中学校 経営の重点



学校経営の重点	主な施策 (■: 特に重点)	関係組織
<b>(1) 安全・安心な学校づくり</b> 「いじめ防止の徹底、思いやり宣言の浸透」	■ 関中安全宣言、安全バッジ、関中安全・安心の日、等を通じた意識の高揚、学級経営を基盤とした活動の展開 □ いじめ防止基本方針・思いやり宣言に基づく安心な学校づくり □ ヒヤリマップによる交通安全と通学路の安全確認 □ 交通安全教室の充実、関中坂等での登下校指導	・指導部 ・学年 ・学級
<b>(2) 学力の向上</b> 「研究テーマを核にした授業改善とそれを下支えする学習習慣の定着」	■ 研究テーマ「主体的に学び続ける生徒の育成～ICTの効果的な活用場面を意識した単元(題材)づくりを通して～」を核として □ 単元づくりにおけるICTの位置付けと実践的活用 □ 宿題と自主学習の組み合わせによる家庭学習の実施 □ 定期テストに向けた計画的な学習の指導 □ 各種調査結果の分析と効果的な活用	・研究部 ・教務部 ・学級
<b>(3) 学校適応指導の充実</b> 「行事・諸活動の活性化、特別支援・教育相談の充実」	■ カウンセリングマインドを基盤とした生徒理解・学級経営(QUの活用等) □ 行事・諸活動の活性化による集団づくりと居場所づくり □ 特別支援、教育相談のスキルアップと組織的対応 □ 定期的な連絡会議と適切なケース会議等の設定と対応 □ 関係機関との連携強化と家庭への啓発	・保健 教育相談 ・コーディネーター ・指導部 ・学級、学年
<b>(4) キャリア教育の推進</b> 「系統立てた活動の充実から適切な進学指導へ」	■ 1年「フィールドワーク」、2年「5日間の社会体験」3年「修学旅行でのキャリアリサーチ」等系統的体験学習の実施 □ 地域での挨拶、地域行事への参加促進 □ 職業人や地域の方から学ぶキャリア学習講座 □ 本人の将来の展望と特性を踏まえた適切な進学指導	・教務部 ・指導部 ・学年 ・学級
<b>(5) 復興教育の推進</b> 「命を考える活動」(いきる) 「ボランティア意識の高揚」(かかわる) 「防災意識の高揚」(そなえる)	■ 命の大切さ、心身の健康意識の醸成 ・道徳教育の充実・副読本の活用・各学年の健康講座 □ キャリア教育の地域貢献(ボランティア&募金活動) □ 自然災害・感染症の理解、非常時に生き抜く技能の習得 ・防災教育、救急救命講習の実施 ・ゲリラ豪雨、熊及び不審者等への対応	・総務部 ・教務部 ・指導部 ・学年 ・学級



令和8年度 一関中学校「まなびフェスト(学校・生徒・保護者の合言葉)」

**学校教育目標**  
自ら求めて知性を磨き、  
心身を鍛え、  
心豊かに生きる生徒  
の育成を期す

**目指す生徒像**

**知** 知性豊かな生徒  
より良い方法を考え、工夫して  
行動できる。

**徳** 心の温かい生徒  
明るいあいさつ、思いやりのある  
行動ができる。

**体** 体力のみなざる生徒  
健康づくり、体力づくりに励むこと  
ができる。

**気** 気力あふれる生徒  
気概とチャレンジ精神で、根気をも  
って生活できる。

あこがれの関中像	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ	あ
	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い	い
	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ	さ
	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ	つ
知				○	○							
徳	○	○	○									
体			○					○	○			
気				○	○		○	○			○	○

関中三大文化      あいさつ      合唱      ボランティア

**関中生の基本的な生活行動目標**

**学習**  
予習・復習がきちんとできる  
わかるところ、わからないところの区  
別ができる  
質問・発表ができる  
授業に集中できる  
協力して学習できる

**生活**  
生活時間が守れる  
あいさつができる  
友達を大切にできる  
節度ある生活ができる  
交通規則が守れる  
係の仕事ができる  
自分の言動を反省できる

**保健衛生**  
自分の体調がわかる  
季節に応じた服装がきちんとできる  
頭髪を衛生的に維持できる  
清掃が手際よくできる

**集団行動**  
集団の話し合いに参加できる  
集団行動がすばやくできる  
集団内で協力し合える  
集団に奉仕することができる  
集団規律を体現できる

**5項目 学習規律**

- ①始業2分前には着席する。(学習道具をそろえて)
- ②正しい姿勢で座って学ぶ。(立腰～腰骨を立てて～)
- ③顔をあげて聴く。(集中して真剣に)
- ④場に応じた声で発表する。(伝わるように)
- ⑤終業後すぐに、次の授業の準備をする。(移動も含めて)

R7まなびフェスト	「関中三大文化」の再興	学校	場の設定と声かけで意欲を引き出し、ともに活動します
		生徒	積極的な声出し・行動を心がけます
		家庭	地域での声かけをお願いします
		指標	肯定的回答85%以上
	「学習規律5項目」の徹底	学校	分かる授業で意欲を引き出し、適切な声かけを行います
	生徒	授業の基本を見直して実行します	
	家庭	道具の確認の声かけをお願いします	
	指標	肯定的回答85%以上	
「朝活動825」の充実	学校	8:25からの朝読書、朝会等を充実させます	
	生徒	遅刻せず登校し活動に集中します	
	家庭	8:20登校への促しをお願いします	
	指標	肯定的回答85%以上	
「毎日家庭学習」の定着	学校	宿題・自主学習・テスト勉強の方法を指導し定着を図ります	
	生徒	毎日家庭学習に取り組みます	
	家庭	声かけや確認をお願いします	
	指標	肯定的回答85%以上	
「自ら〇〇」への挑戦	学校	場の設定と声かけでチャレンジを促し、活動を支援します	
	生徒	自ら進んで何かに挑戦します	
	家庭	励ましや支援をお願いします	
	指標	肯定的回答85%以上	



【一関中学校ホームページ】

**関中思いやり宣言**

私たちは、一人ひとりが勇気と  
こころ配りを大切に、笑顔の  
絶えない関中生を目指します。

《勇気》 いじめはしない、させない、見逃さない  
《こころ配り》 常に相手の気持ちを考えた話し方や行動を心がける  
《笑顔》 笑顔の会話を増やし、誰もが居て楽しいと感じられる雰囲気をつくる

【別紙3】

令和7年度 保護者アンケート(集計)

一関市立一関中学校

※評価の区分・・・肯定的評価が85%以上→◎ 70～84%→○ 60～69%→△ 60%未満→▲

No	評価	設問	回答(%)				肯定的回答
			A	B	C	D	
1	◎	学校は教育目標や方針及び教育活動をわかりやすく伝えている。	26	62	10	2	88
2	◎	生徒は、自分から進んで何か(勉強、部活、課外活動等)に挑戦している。	36	49	13	2	85
3	○	あなたのお子様は、自分から進んで何か(勉強、部活、課外活動等)に挑戦している。	39	38	15	8	77
4	◎	学校は熱心に教育活動に取り組んでいる。	33	53	13	2	86
5	◎	学校は、礼儀正しく誠実な対応をしている。	35	55	9	1	90
6	◎	学校は参観日や学校行事など、学校を参観する機会や方法について適切に設定している。	53	42	4	1	95
7	◎	学校は健康・安全に関する指導や対応を適切に行っている。	40	52	6	2	92
8	○	学校は、生徒の間違った言動や問題行動に対し適切に対応している。	32	49	13	6	81
9	◎	学校はホームページやお便りなどをとおし、学校生活の様子をお伝えできている。	45	47	8	1	92
10	◎	学校は「学習規律5項目の徹底」を目指し、わかる授業を実践し、生徒の意欲を引き出している。	27	61	10	1	88
11	◎	学校は子どもをよく理解し、適切に評価・指導している。	25	63	8	5	88
12	○	学校は親切で親しみがあり、子どもについて相談しやすい。	31	51	12	6	82
13	○	学校は子どもについて家庭と積極的に連絡を取り合っている。	28	49	19	3	77
14	○	学校はキャリア教育など、勤労親や職業観を高める指導を積極的にしている。	25	54	17	3	79
15	▲	学校は「毎日家庭学習定着」を目指し、宿題・自主学習・テスト勉強の方法を指導し、定着を図っている。	22	35	28	16	57
16	▲	あなたのお子様は、毎日家庭学習の習慣が身についている。	22	35	28	16	57
17	◎	生徒は、部活動(地域の活動)や関中祭、体育祭などの諸行事に積極的に取り組んでいる。	60	37	2	1	97
18	◎	あなたのお子様は、部活動(地域の活動)や関中祭、体育祭などの諸行事に積極的に取り組んでいる。	58	35	4	3	93
19	○	生徒は地域や学校において挨拶がきちんとできている。	27	56	15	2	83
20	○	あなたのお子様は、地域や学校において挨拶がきちんとできている。	29	54	14	3	83
21	◎	学校は「思いやり宣言」の浸透を目指し、生徒が意欲的に活動し、落ち着いて生活できる雰囲気を作っている。	29	56	13	2	85
22	◎	学校は「関中三大文化(挨拶・合唱・ポランティア)の再興」を目指し、適切な場の設定、生徒への声かけをしている。	45	49	6	1	94
23	◎	学校は「朝活動825の充実」を目指し、8時25分からの朝活動(朝読書、朝会等)を充実させ、実践している。	33	62	5	1	95
24	◎	お子様は、「行ってきます」「いただきます」「おやすみ」「おやすみ」などのあいさつがしっかりできている。	55	31	13	2	86
25	△	家庭では「早寝 早起き 朝ごはん」の習慣ができています。	18	42	27	13	60
26	▲	家庭で「ノーマメディア」を意識して生活する場面がある。	8	20	41	31	28



10/31(金) 情報モラル教室



11/9(金) 真柴地区文化祭



11/20(木) 理科エネルギー領域研修会



11/26(水) 生徒会引継ぎ式



11/26(水) 一関工業高校出前授業



1/20(火) 他教室清掃



1/30(金) 関中を伝える会



【一関中学校ホームページ】

# 令和7年度 一関市立南小学校 グランドデザイン

## 学校教育目標

### 基本目標

たくましく生き、郷土と国際社会の未来を創造できる、知・徳・体の調和のとれた、人間性豊かな児童の育成をめざす。

### 具体目標

#### 【あかるく】

明るく  
思いやりのある子ども

#### 【かしこく】

進んで学び  
よく考える子ども

#### 【たくましく】

強い体で  
実行力のある子ども

児童会スローガン

やさしさを言葉で広げる 南の子

多様性と包摂性の学校文化の醸成

### 目指す児童像

#### 【あかるい子】

- ・ 明るいあいさつや返事、思いやりある言葉遣い
- ・ ルールやマナーについて考え、正しく判断し行動
- ・ 進んで友達とかかわり、よりよい人間関係を築く

#### 【かしこい子】

- ・ 基礎的・基本的な学習内容がわかる、できる
- ・ 自ら考え、判断し、表現する
- ・ 進んで学ぼうとし、仲間と高め合おうとする

#### 【たくましい子】

- ・ 体育や健康安全に関する知識を身に付け、実践
- ・ 健康で安全な生活について考え、正しく判断し実践
- ・ 自ら課題意識を持ち、進んで生活改善、体力向上

### 目指す学校像

- ㊦ 児童が心身ともに健やかに育つ学校
- ㊧ 基礎・基本を大切に、確かな学力を育む学校
- ㊨ 生き生きと活気あふれる学校



児童：明日も楽しい学校  
保護者・地域：応援しがいのある学校  
教職員：やりがいのある学校

3あ運動+1+1 (PTA)

さんあ運動プラスわんわん

### 【まなびフェスト】

保護者・地域との共有

### 目指す教職員像

- ㊩ 人間的な温かさ、児童を認め、ほめ、叱り、励ます
- ㊪ 豊かな教養、「わかる授業」に努める
- ㊫ 共に働き、共に遊び、率先垂範で生き生きと実践

### 基本方針

#### 【すべては児童のために】

- 1 全職員が【協働】のもとに、チームとしてベクトルをそろえて教育活動を推進する。
- 2 一人一人の学びが保障され、笑顔で学校生活を送ることができるよう【創意(総意)】工夫を図る。
- 3 家庭や地域、関係機関と【連携】し、地域とともにある学校づくりを推進する。

### 重点

#### 【あかるく】言葉遣いの改善 …

あいさつ (ありがとう、ごめんなさい)、返事 (日頃の積み重ね)、ふわふわ言葉 (児童会・学級活動との連動)

#### 【かしこく】学習基盤の徹底 …

学習規律 (学級経営に生かす)、算数・基礎計算 (習熟の時間の確保、ICTの有効活用)、読む力 (音読、読書の習慣)

#### 【たくましく】生活改善・体力向上 …

時間を意識 (登校、メディア)、清掃の徹底 (勤労や協力の態度)、運動に親しむ (体づくり、歩いて登校)

【その他】 ① 不断の授業改善 ② いじめの未然防止・早期発見と組織的対応による解決 ③ 特別支援教育の充実 ④ 家庭・地域との連携・協働

# R7 南小学校 まなびフレスト

児童、家庭、学校、地域が目標を共有し、具体的な実践を進めます。

## 学校での取り組み

- ① 進んで挨拶ができる児童を育てます。  
★ 達成基準：85%以上
- ② しっかりと声で運動ができる児童を育てます。  
★ 達成基準：70%以上
- ③ 思いやりのある言葉遣いができる児童を育てます。  
★ 達成基準：85%以上  
○ よいこと・悪いことを判断し、行動できる児童を育てます。  
★ 達成基準：85%以上
- ④ 学習規律を徹底し、学級経営に生かします。  
★ 達成基準：70%以上
- ⑤ 全校で「わかる・できる授業」をめざします。  
★ 「算数」の授業：よくわかる＋わかる：85%以上  
★ CRTにおいて、正答率8割以上の児童の割合を上げます。  
○ 家庭学習にしっかりと取り組む児童を育てます。  
★ 目標時間（学年×10分）以上：80%以上  
★ 自主学習への取り組み（3年生以上を基本）
- ⑥ 読書活動の推進を図ります。  
★ 年間目標読書冊数（4年70冊、2年80冊、3・4年50冊、5・6年30冊）：70%以上

## 学校教育目標 めざす児童の姿

### 【あかるく】 「明るく 思いやりのある 子ども」

- ① 進んで挨拶をします。
- ② しっかりと声で運動をします。
- ③ ふわふわ言葉を大切にし、仲よく学校生活を送ります。  
・ よいこと・悪いことを考えて行動します。

### 【かしこく】 「進んで学び よく考える 子ども」

- ① 学習規律を守ります。
- ② わかるまで、あきらめずに学習に取り組めます。  
○ 毎日、家庭学習に取り組めます。  
・ テレビ等を消して目標時間（学年×10分）学習します。  
・ 自分で考えて工夫し、自主学習にも取り組めます。
- ③ 学校と家庭で音読・読書に取り組めます。  
・ 家庭での読書「家読（うちどく）」にも取り組めます。

### 【たくましく】 「強い体で 実行力のある 子ども」

- ① 「早ね・早起き・朝ごはん」の生活リズムを守ります。  
・ 朝ご飯を必ず食べます。睡眠時間を守ります。  
（低：9～10時間 高：8～9時間）
- ② メディアルールや登校時間など時間を意識します。  
○ 清掃、係や当番の仕事、家庭での仕事をしっかりとやります。
- ③ 運動に楽しみ、歩いて登下校します。

## 家庭や地域での取り組み

- ① 家族同士で挨拶をしたり会話をしたりします。
- ② しっかりと声で挨拶や運動をさせます。
- ③ ふわふわ言葉を大切にし、子どもや私たちの良い所を見つけためます。  
・ 特に「ありがとう」や「ごめんねさい」を大切にします。  
・ よいこと・悪いことがわかるように褒めます。
- ④ がんばっていることを見つけ、励ましの言葉をかけます。
- ⑤ 家庭学習をしっかり行うように声かけをします。  
・ 宿題の丸つけや音読の評価をしてやります。
- ⑥ 家庭での音読・読書を勧めます。  
・ 「家読」、「親子読書」に進んで取り組みます。
- ⑦ 心身の健康管理を徹底します。  
・ 十分な睡眠・朝ご飯をしっかりとらせて登校させます。  
・ 登校時間やメディア時間、寝る・起きる時間など、時間を意識させます。  
・ メディアの使い方をルール化し、約束を守らせませます。
- ⑧ 家庭での仕事を決め、家族の一員としての自覚と責任を高めます。
- ⑨ 歩いて登下校させます。  
（自動車で学校前までの送迎はしません。1kmは歩かせます。）



## 3 あ運動 + 1 + 1

「あいせつ」・「あんぜん」・「あんせつ」・「あとしまつ」 + 「あるいて登校」 + 「ノーマティア」 を実行します。

# R7 まなびフェスト振り返りアンケート結果

一関市立南小学校

※①～⑫の項目についてのA・B評価の割合

(A=よく当てはまる B=だいたい当てはまる C=あまり当てはまらない D=当てはまらない)

項目		保護者	R6	児童	R6
①	進んで挨拶をする	86	87	93	84
②	善悪の判断ができる	95	95	90	83
③	友達と仲よく助け合う			92	84
④	思いやりのある言葉遣いができる	85	84	93	80
⑤	算数の学習内容を理解している	85	84	87	83
⑥	家庭学習にしっかりと取り組む	76	74	89	85
⑦	進んで読書に取り組む	43	46	77	82
⑧	毎日 朝食を食べている	96	97	93	93
⑨	早寝 早起きができています	82	78	80	80
⑩	ゲームやメディアの約束を決めている	84	82	80	82
⑪	ゲームやメディアの約束を守っている	78	73	83	81
⑫	係や当番 家庭での仕事をしている	65	66	96	91

【保護者への実施】 期間:令和7年11月26日～12月23日 回答率:78.0%(R6:74.4%)

【児童への実施】 期間:令和7年12月1日～12月23日 回答率 89.8%(児童 269人)

## 【保護者 自由記述】※原文ママ

- ① 高学年なので、もう少し宿題を増やしてほしいと思います。宿題は、必ずしないといけないものだと思っているのでお願い致します。あと、漢字テストも出る問題がわかっているのだから毎日してもいいと思います。
- ② 宿題がない日でも自分の勉強はしていますが、苦手な部分から少し逃げがちになってしまってます。気持ちは分かるけど、苦手を潰していく感じで取り組んでいけると良いと感じています。
- ③ 学校用タブレットを持ち帰ってくる事が多くなり、家のタブレットや携帯ではなく学校タブレットを時間以上に触ることが増えてそれはどうなんだろうなどと思いました。
- ④ ○熊対策について、注意喚起や見回り以外にどんなことをしているのか知りたい。熊鈴は必須じゃないのか、熊スプレー等は準備してるのか、各家庭に任せての対策になるのか等  
○通常授業の授業参観をしてほしい。調べ学習等の発表会ばかりで、もう見なくていいかなと思う。通常授業をどんな様子で受けているのか、授業のクラスの雰囲気を知れるせっかくの機会が授業参観だと思うので、お願いしたい。  
○今回の授業参観のように、通常と下校時間が異なる場合、予め連絡がほしい。あるいは、お知らせのお便りと同じ時間(多少の前後はあるにせよ)で下校させてほしい。下校後、すぐ習い事があり間に合わなかった。お便りの時間だと間に合ったのです。
- ⑤ 学校生活にも慣れて、まなびフェストにも意欲的に頑張っている姿が見られます。本人も目標があるとやり易いし、楽しいと話していました。
- ⑥ YouTubeなどに依存する傾向にあり、少しずつ無理のない程度で改善できるように親子で取り組んでいきたいと思っています。
- ⑦ ゲーム時間が守れなくて困っています。
- ⑧ ゲーム SNS メディアの制限の意識が高まるような情報発信してほしい

- ㊦家でもっと子供と会話した方がいいと思います。うちは2人暮らしなので沢山会話してますが、他の子はしてないのかな？と思ったり気になってます。思いやりのない子が人の悪口言ったり、嫌がることしたり、どうしたらそうなるのかなと、そう育つのかな？と思ってます。自分がされて嫌なことはしてはいけないと教えて来なかったのかな？と思ったりします。それとこのアプリ？入力しづらいです。
- ㊧土日は学校が休みなのでやっぱり何をするのも遅くなってしまいます。
- ㊨岩手県の方々良さは真面目で素直なところですか。どこの企業に入っても吸収、素直な伸びのいい岩手県の子供たちには今後とも期待しております。
- ㊩本が好きで、学校から借りた本も図書館から借りた本も読んでます。学校で行っている図書館祭りでのクジ引きが楽しみで、当たり券(3冊借りれる券)を当てた時は大喜びで帰宅します。お友達にも本が大好きな子がいて、その子からオススメなのを聞いて読んでます。図書館祭りは本が好きな子にとって素晴らしい取り組みだと思うので今後も続けて欲しいです。
- ㊪高学年になってから、時間の使い方が上手になったなど感じます。平日の朝は、自分でアラームをかけて自分で起き、夜は寝る時間になると「おやすみ〜!」と自分の部屋に行くようになりました。親の私がしっかりしなきゃなと思います(笑)。本当に成長しました。
- ㊫朝食はあまり食べない→学校へ行くのに緊張するのかな？飲み物はヤクルト・ココアを飲んでいきます。おにぎりにすると食べるという感じです。おかずあまり食べず(魚嫌いですが)。お刺身のマグロは食べる。青魚の臭みが嫌みたいです。夜は21時までには布団に入り朝は6時30分起床しています(夏とかだともう少し早い)。

## 結果の分析・考察等

### 1) 全体サマリー (平均値 肯定的評価%について R6→R7の比較)

保護者：79.5% (R6: 78.7%) → +0.8pt

児童：87.8% (R6: 84.0%) → +3.8pt

### 2) 強み (高水準かつ伸びが見られる項目)

㊬ 係や当番・家庭での仕事：児童 96% (+5pt)

① 進んで挨拶：児童 93% (+9pt) / 保護者 86%

④ 思いやりのある言葉遣い：児童 93% (+13pt) / 保護者 85% (+1pt)

③ 友達と仲よく助け合う：児童 92% (+8pt)

⑧ 毎日朝食：児童 93% (±0) / 保護者 96% (-1pt)

#### 【考察】

学校生活の自治・役割遂行(㊬)と人間関係面(①④③)の向上が見られる。学校生活の中での行動規範・言語活動の指導が成果に結び付いていると考えられる。

### 3) 優先課題 (低水準/下げ止まり/下がり傾向)

⑦ 進んで読書：保護者 43% (-3pt) / 児童 77% (-5pt)

→ 両者とも下がり、かつ保護者-児童で34ptの大きなギャップがある。

⑩ メディアの約束を決めている：児童 80% (-2pt) (保護者 84% (+2pt))

→ 家庭内の“合意形成”がやや弱含みである(児童の実感が下がった)。

⑨ 早寝早起き：児童 80% (±0) / 保護者 82% (+4pt)

→ 頭打ちとなっている。就寝・起床について一貫性の担保が課題である。

㊬ 係や当番・家庭での仕事：児童 96%に対し保護者 65% (-1pt)

→ 児童は高評価だが、家庭での仕事に対する保護者評価が伸び悩んでいる。

#### 【考察】

読書は学校・家庭ともにこ入れが必要である。

メディアルールは「決める」→「守る」までの運用設計が鍵(決める:児童 80%↓、守る:児童 83%↑・保護者 78%↑)と言える。“合意しても実態は守れていない”とする保護者“合意が曖昧でも実態は守れている”と捉えている児童が一定数あると推測される。

#### 4) 保護者と児童の認知ギャップ(R7/児童-保護者)

※正の値=児童の方が高評価、負の値=保護者の方が高評価

- +34pt: ⑦ 進んで読書 (児童 77% vs 保護者 43%)
- +31pt: ⑫ 係や当番・家庭での仕事 (96% vs 65%)
- +13pt: ⑥ 家庭学習にしっかり取り組む (89% vs 76%)
- + 8pt: ④ 言葉遣い (93% vs 85%)
- + 7pt: ① 挨拶 (93% vs 86%)
- 5pt: ② 善悪の判断 (児童 90% vs 保護者 95%)
- 4pt: ⑩ メディアの約束を決めている (児童 80% vs 保護者 84%)

#### 【考察】

読書・係や当番・家庭学習で児童自己評価が高い一方、保護者の実感が追いついていない。学校での実践や努力が家庭に可視化されていないことが考えられる。家庭実践(特に読書・家事分担)の場面が不足している可能性もある。

善悪の判断・メディアルールの“決める”は保護者の方がやや高い評価である。「家庭内の期待やルールはあるが、児童の内面化は道半ば」と考えられる。

#### 5) 年度間の主な変化(抜粋)

- ・伸びが大きい(児童):
  - ④ 言葉遣い +13pt/① 挨拶 +9pt/③ 友達 +8pt/⑫ 係・当番 +5pt
- ・下がった(児童):
  - ⑦ 読書 -5pt/⑩ ルールを決める -2pt
- ・伸びが大きい(保護者):
  - ⑪ ルールを守る +5pt/⑨ 早寝早起き +4pt/⑥ 家庭学習 +2pt
- ・下がった(保護者):
  - ⑦ 読書 -3pt/① 挨拶 -1pt/⑧ 朝食 -1pt/⑫ 係・当番 -1pt

#### 6) 具体的な施策案

##### A. 読書(⑦)- 学校×家庭の両輪

校報・学年通信や懇談会等を通じて、「ノーメディアデー」における「親子読書」実践の啓発を図る(例えば“読書の声かけ例”“本の内容より読んだ時間を一緒に喜ぶ”声かけを掲載するなど)。「ぐんぐんカード」の活用方法を探る。

##### B. 家庭学習(⑥) メディア(⑩⑪)- 合意形成の向上・可視化と自己調整

学習計画・メディア→振り返りのミニ PDCA サイクルを意識した「ぐんぐんカード」や長期休業における計画表の活用方法を探る。従来から行われている“学びの成果見本(ノートの掲示)”の実践を広げるなどの工夫も考えられる。

##### C. 係・当番・家庭の仕事(⑫)- 家庭側への橋渡し

これまでと同様に、校報・学年通信や懇談会等を通じて児童の様子を具体的に伝え、児童高評価(96%)を家庭の実感へ接続しギャップの縮小を図る。長期休業における取組も関連させたいところである。

#### 7) まとめ(要点)

- ・全体の傾向としては上向きである(特に児童: +3.8pt)。あいさつ・言葉遣い・友達関係は顕著に改善が見られる。
- ・読書は優先的なたこ入れが必要である(両者低下+最大の認知ギャップ)。
- ・家庭学習・係当番は“家庭での実感”へ橋渡しをする(可視化・保護者への啓発)。
- ・メディアは“決める”の合意形成を強化していく(可視化と自己調整)。
- ・生活習慣は固定化で頭打ち解消をねらう(同様に可視化と自己調整)。

「保護者の自由記述」に対する回答(校報第10号 令和8年1月16日発行より)

【学校安全に関わるもの】

項目	内容
●注意喚起	市から提供される情報をとらえた後、まなびポケットメールにて注意喚起や対応について発信するようにしています。
●パトロール・見回り	警察やスクールガードと連携し、学区内パトロールや、校庭、校舎回り等の見回りを教職員複数名で行っています。
●児童引率	特に心配が大きい下校路(コース)に対し、教職員が引率し、または警察車両を伴っての帰宅を施しています。(集団下校も含む)
●熊撃退スプレー	現在学校として4本保有。私物として持参する教職員もあり。
●防犯カメラ	熊対策と不審者対策を兼ね調達。まもなく児童昇降口に設置監視します。
●引き渡し体制の整備	熊出没後、山へ逃げ去ることなく住宅街等で留まった場合、児童の屋外活動を中止した上で、保護者による引き渡しを行うこととなります。11月4日付、「緊急時の児童引き渡し要領」について(学校発・HP)を再度ご確認ください。
●熊鈴	校報や学校文書・メール等で呼びかけているとおり、熊鈴など音の鳴るものの着用を勧めております。(熊鈴の学校保有は現在10~15個程で、お問い合わせにより貸与可能です)
●車での登下校送迎の勧め	学区内での熊出没メール配信に掲載していますが、通学路付近となるご家庭や心配なご家庭については車での送迎や保護者の同行等をお願いしています。(現在、登校時に50台超の車を確認。通常は20台程度)
●児童指導	危険な場所(山や川)にむやみに近づかない。できるだけ複数での登下校を心がける。小熊を見たらそっと立ち去る。など、基本的な動作や熊に出会いにくい工夫について声がけをしています。(各ご家庭でもお願いします)
●校舎施錠	原則として、児童登校後8時10分過ぎに、昇降口を施錠しています。屋外に出る時に開錠し、熊の侵入を防ぐ手立てとしています。

\*上記を踏まえ危機管理マニュアル随時更新中

【メディアに関わるもの】

●学校では、情報モラルの授業として、3年生「安全メディア教室」を教育課程に位置付け、専門家の指導を受けています。また、タブレットの使い方やネットリテラシーに関する指導を、学年に応じながら行っています。
●よりよく使うと効果的な機器(文房具)になりますし、今後ますます必要な時代となります。一方、ルールを逸脱することで、心身や人間関係へ害を及ぼし兼ねません。早期に、保護者への啓発(情報発信)を行うため、今年度は入学前の就学時健診時において、専門の先生からメディア(ICT関係)に関わる児童の実態についてお話いただく時間をとりました。 <small>*南の風スタンダードでは、メディア時間1日2時間まで</small>
●ご要望にあるように、今後も学校保健だより「けんこう」を中心に、「メディアと心身の健康」に関わる情報提供に努めます。またPTAとして本課題を受け止めています。

【学習等に関わるもの】

●本校の家庭学習の目的は、学習内容(知識・技能)の習得および定着に留まらず、「得意不得意への克服・対応」「自主的・計画的な態度」「時間管理を含む学習習慣の形成」促進など、多くを含むものと考えます。また時間については、「南小学校 学習のきまり」に示すとおり、通常、【学年×10分以上】を目安に、【宿題や自主学习】で進められるよう指導しています。
●今後も、学習内容や家庭学習への取組状況についてお子様とコミュニケーションをとり、実態に応じて、励ましや指導助言をいただきますようお願いいたします。